



* 「みんなのはらっぱ」は、親子でゆったり
過ごせる 子育てひろばです。どなたでもどうぞ！*

人形劇(おおきなおいも等)

by **こぶた座**

10月5日(木) 万願寺
10時30分~11時

小児科専門医中村 敬先生の

子育て健康相談

10月17日(火) 南平
10時30分~11時45分

健康のこと、子育てのこと、何
でも気軽に相談にのってくれます。

作ろう!遊ぼう!

まんがんじ児童館と共催

ぽかぽかひろば

10月19日(木)10時30分~11時30分
万願寺中央公園ステージ前広場
(天候によっては、児童館ホール)

持ち物:水筒、帽子、タオル 作った物を入れる袋

* ママ達企画 *

バザー 万願寺

10月13日(金)

10時30分~12時
提供品:募集中!

ハロウィン 万願寺

10月27日(金)

10時~11時

おめんづくり、撮影会



明星大生による

「明星どうぶつえん」

万願寺

お楽しみに!

10月26日(木)

11時~11時30分

<みんなのはらっぱ開催日カレンダー>

10 月

11 月

南平	万願寺			
火	火	水	木	金
3	3	4	5	6
10	10	11	12	13
17	17	18	19	20
24	24	25	26	27
休み	31			

南平	万願寺			
火	火	水	木	金
		1	2	休み
7	7	8	9	10
14	14	15	16	17
21	21	休み	23	24
28	28	29	30	

体重計測の日

南平 10月3日(火)
万願寺 10月26日(木)
9時30分~14時

おやまにあつまれ!

10月11日(水) 11時~11時45分
天候によっては、12日(木)に延期
万願寺交流センターの向かいの丘にて
草の上で、そり遊びを楽しもう!

はらっぱ カフェタイム 万願寺

10月20日(金) 10時~10時20分

コーヒー・紅茶 30円 4組まで

※離れられるお子さんは、パートナーと遊びます。

10月の親子製作
[ハロウィン]



簡単!安い!おいしい!《連載》わが子の大好きな一品
(りひとくん2歳の巻)

「おかかチーズ おにぎり」



[材 料] ① ご飯 ②かつおぶし ③チーズ(何でも可)
④ しょう油、のり

[作り方](1)あたたかいご飯に、かつおぶし、チーズ(小さくちぎる)、
しょう油を入れてまぜる。
(2)にぎる。(3)のりをまく。

お母さんから...

おにぎりにあきてても、このレシピのおにぎりだけはよく食べ
ます。あたたかいご飯に混ぜることで、チーズが少し溶けて
なじみます。チーズが大好きな息子のために。



***** まちづくり市民フェア2017*****

10月15日(日) 10時~15時

in 市民の森ふれあいホール

市民の活動を知って、体験して、親子でも参加できるイベント。
日野子育てパートナーの会も参加します。来てね!

「みんなのはらっぱ」南平

火曜日(南平駅西交流センター)

「みんなのはらっぱ」万願寺

火~金曜日(万願寺交流センター)

* どちらも 9:30~14:30

* 開催日は、おもて面参照

発行: NPO法人

日野子育てパートナーの会

Tel/ Fax : 042-587-6276

✉ : info@hino-harappa.net

HP : みんなのはらっぱ **検索**



私が好きな本、おすすめしたい本

絵本やマンガなど多様なジャンルから紹介してもらいました。ちょっとちがう世界に出会えるといいですね。アンケートにご協力ありがとうございました。

「みんなのはらっぱ」の本の貸出
冊数：2冊まで、期間：2週間
(南平は、絵本の貸出もあります。)

「トリペと」

(コンドウ アキ)

妊婦さん、子育て中のママは、絶対楽しめるはず。あるある！や、なるほど～の連続。超笑える。

「浅見光彦シリーズ」

旅行に行きたくなる。小説を読んだ後に、その舞台となった土地を訪れると感動が一層強まる。特に、「棄霊島」長崎の軍艦島を舞台のストーリーは感動した。

「ガラスの仮面」

学生時代にハマって読んでいた。取り柄のなかったマヤちゃんが成長していく姿が楽しかった。まだ続いているので、今後に気になる。

「本日はお日柄もよく」

(原田 マハ)

ふつうのOLが、スピーチライターになる話。笑いあり涙ありで楽しかった。

「りゆうがあります」

(ヨシタケシンスケ)

読むとクス！っと思わず笑える。子どもの気持ちがわかってしまう不思議な本。お母さんにおすすめ。

「子どもへのまなざし」

(佐々木正美)

わんぱくなお兄ちゃんたちが小さい頃読んだ。心がほっこりあったまる育児本。先日著者の佐々木先生が亡くなられたので、もう一度読み直したい。

「永遠の0(ゼロ)」

(百田尚樹)

- ① 映画にもなったが、やはり、小説が一番。普通に生活していける、この時代に生まれて幸せだなと痛感する。
- ② 想像もできない戦闘機乗りの話がくわしくてとても興味深かった。当時、お国のために命をささげた中で、主人公が生きて帰ると言いはっていた理由が家族のためであったことにとても感動した。

「ぼくのにせものをつくるには」

(ヨシタケシンスケ)

子ども向けの哲学本のようなものですが、親も一緒によんでいて面白く考えさせられるので。絵もほんわか可愛く娘も5歳の頃からお気に入りです。

「幸福な王子」

(オスカー・ワイルド)

人に分け合う優しさが学べる。何年か前に、没後〇〇周年記念で、きれいな絵本が出た。

「日本一めんどくさい幼稚園」

(武蔵野幼稚園園長)

子どもとの向き合い方、接し方など、参考になる。

「ちはやふる 1～35」

小学生のお姉ちゃんが読んでいるマンガを、育児のリフレッシュに読んでます。現実トーヒ？

「おやすみロジャー」

ねかしつけにききめバツグン！途中でねるので、最後まで読んだ事がない。

「ヨチヨチ、父」(ヨシタケシンスケ)

「もうぬげない」や「りんごかもしれない」の絵本が好きで、読んでいたので、エッセイも読んでみたい。



「まあちゃんのながいかみ」

小さい頃好きだった絵本。息子も「ボクも髪をのばそうかな～」っと。息子が図書館から何度も何度も借りてきている。

「あん」

育児で疲れていても、一気に読めちゃうくらい読みやすい。読み終わった後、ほっと、あたたかい気持ちになる。ウルッとできる本。

「夢十夜」(夏目漱石)

いわゆるショートショート作品集。漱石というとかたいイメージだが、とても読みやすい作品。今読んででも色あせない。斬新な題材や幻想的な表現でとてもおすすめ。

その他のおすすめの本

- 「ノントン」「ぐりとぐら」
- 「残念な動物」「ぼうしとったら」
- 「さかした分校前」
- 「くまくまくんしょうぼうし」
- 「もりたろうさんのじどうしゃ」
- 「100かいだてのいえ」シリーズ
- 「幼児食(保育園などの給食)の本」
- 「林真理子、吉本ばななの本」
- 「だるまちゃんシリーズ」
- 「おばけかぞくの日」

